

【科研費応募支援ニュースレターNo.12】 発信日 231025 (水)
タイトル_一般財団への申請

教育職員各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。URAの高木敦子です。
10月2日、月曜日（非勤務日です）、自宅でのんびりネットを見ていますと、工学部電気電子情報工学科の草場光博先生から、天田財団の一般研究開発助成に採択されたとの吉報メールをいただきました。申請書類の内容のチェックを通して、研究課題が重要なもので、それを解決する先生の研究計画は明確に書かれていたので、採択されるのではないかとは思っていましたが、実際に採択されたことをお伺いし、大変嬉しく思いました。研究助成の採択は先生自身の研究助成となりますが、採択結果が公開されますので、大学としてはよい宣伝につながるのでは、と考えております。
というわけで、今回は、草場先生の採択と民間財団等の研究助成申請について書かせていただきます。

公益財団法人 天田財団は1987年に財団法人天田金属加工機械技術振興財団として設立され、金属加工機械技術の振興と普及を目指されている財団です。申請対象は「塑性加工」と「レーザプロセッシング」の2分野があります。2023年度前期募集で86件、総額約2億6000万円と、一般財団の中では大型の助成です。本学で、この助成を受けられた先生は初めてとのこと。前任校に所属していた際に採択され、本学着任後も引き続き助成を受けていらっしゃるケースはございます。現在、2023年度後期募集国際交流助成の追加が行われています。ご研究分野の近い先生におかれましては、一度、天田財団のホームページ (<https://www.amada-f.or.jp/prog>) をご覧いただければと思います。草場先生は「レーザプロセッシング」の分野での応募で、『ナノ秒紫外レーザーによる非熱的ナノ微細構造形成制御』のご研究課題名で採択されました。

草場先生の天田財団助成採択については、10月17日日本学ホームページに掲載されています。<https://www.osaka-sandai.ac.jp/news/topics/49188/>

私ごとで恐縮ですが、以前の職場では、ある時期まで、科研費では海外出張が不可となっていました。これは、当時の学振のルールだったのか、以前の職場のローカルルールだったのかは、明確ではありませんが。また、本学の個人研究費に対応する研究費でも、国内外の出張旅費や人件費も支出不可でした。国際学会に参加しようとする場合、他の人はどのようにされていたのか存じないのですが、私は民間財団の国際交流助成に応募しました。4回採択され、おかげ様で、私費で渡航したのは1回だけでした。財団の申請対象のツボにはまれば、比較的採択されやすいのではないかと思いますので、海外出張される場合にはご検討下さいませ。

各民間団体等の研究助成募集情報は、本学 web サイト 左側の MENU から【研究・社会連携>研究支援>研究助成金の公募一覧（民間団体等）】ページ内に、本学に関わると考えられる公募がリストされています。https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/r_grant.html

（【ID: kenkyu パスワード : sanken3001】）

ポスターやちらしがある場合には、産研事務室の外にも掲示しております。

「公益財団法人 助成財団センター」（<http://www.jfc.or.jp/>）のサイトにも個々の助成財団の情報が記載されていますので、ご活用下さい。

『科研費 獲得の方法とコツ 第8版』（児島将康 著）には、民間財団の研究助成申請において、特にラボを立ち上げたばかりの頃には、「新設ラボで研究費が必要」と一言記載しておく、採択されやすくなって、非常にありがたかったと書かれていました（72頁）。

産研事務室は、科研費の申請書作成支援のみならず、その他、民間財団等の申請書作成支援も随時、行っていますので、URA まで、ご連絡いただけましたら幸甚でございます。

これからも、科研費申請や研究に関し、情報共有のためメール発信させていただきたいと思っております。気軽にお付き合いいただき、なにかすこしでも先生方のお役に立てればと願っております。ご不明点、ご意見、ご希望などございましたら、メールで URA 高木敦子（8atakagi@cnt.osaka-sandai.ac.jp）まで、お伝えいただきますよう、お願い致します。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

失礼致します。